



伝灯奉告法要とは

宗祖・親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」が、聖人から数えて第25代となる専如ご門主に伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、伝灯奉告法要が勤められます。

伝灯奉告法要の様子



第25代専如ご門主

よう。逆に、ご達観
なされて、プレッ
シャーはあまりお感
じにならないの
かもしれませんね。
一緒に団体参拝
へ行く皆さま、一泊
二日で楽しく本願
寺へお参りしてき
ましょう。

住職レター

三月三十日に、善教寺から団体参拝にて、本願寺伝灯奉告法要へ参ります。親鸞聖人や蓮如上人の大遠忌法要と違い、伝灯奉告法要は、あまり馴染みがありませんよね。

浄土真宗のみ教えである法灯、すなわち親鸞聖人がひらかれた本願名号の真実の教えである念仏の法が、今に伝えられたこと。そして今後、お念仏のみ教えが広く伝わることを願っての、法要であります。私は、平成七年、善教寺の前任職である父が亡くなり、この善教寺を継職しました。一五二三年(室町時代中期)に、西空が開基し、私でちょうど第二十代住職に至ります。継職した当時、この職責の重さに、自分自身がつぶされそうなプレッシャーを感じておりました。

本願寺第二十五代となられた専如ご門主は、私が感じたプレッシャーの、何倍も重圧があることでし